

# 議事録作成支援システム導入に伴う検証結果

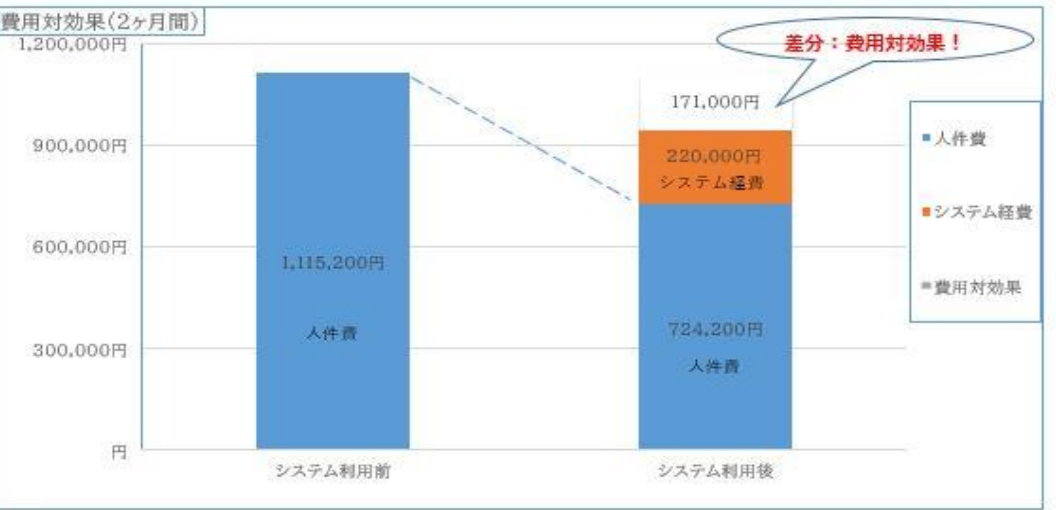
## 1 調査目的

令和2年12月1日から議事録作成支援システムを導入し、効果検証及び課題を把握するため調査を行った。

## 2 調査概要

対象期間	令和2年12月1日(火)～令和3年1月31日(日)
対象課	16
調査方法	各課による照会
議事録数	69
調査機関	情報政策・改革改善課

## 3 費用対効果



項目	質問項目	分	時間	費用(人件費等)
A	システム利用前(2ヶ月間)	19,666	328時間	1,115,200円 ※
B	システム利用後(2ヶ月間)	12,788	213時間	724,200円 ※
C	A-B(2ヶ月間)		-115時間	-391,000円 ※
D	システム利用料(2ヶ月間)			220,000円
E	費用対効果(2ヶ月間)		115時間	-171,000円
F	費用対効果(1年間)		-690時間	-1,026,000円

※人件費を「3,400円/時間」として計算

## 4 調査項目

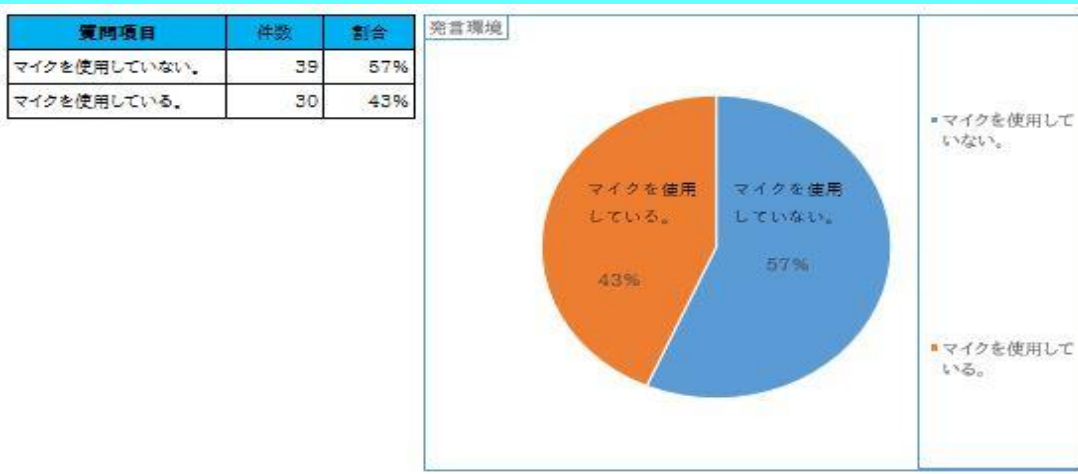
- ・議事録作成者、発言環境、録音環境、会議室レイアウト
- ・議事録作成にかかった時間、編集ソフトの利用有無、
- ・音声データテキスト化の自動認識率・課題

## 5 回答集計(抜粋)

### ①発言環境

マイクを使用していない。 57%

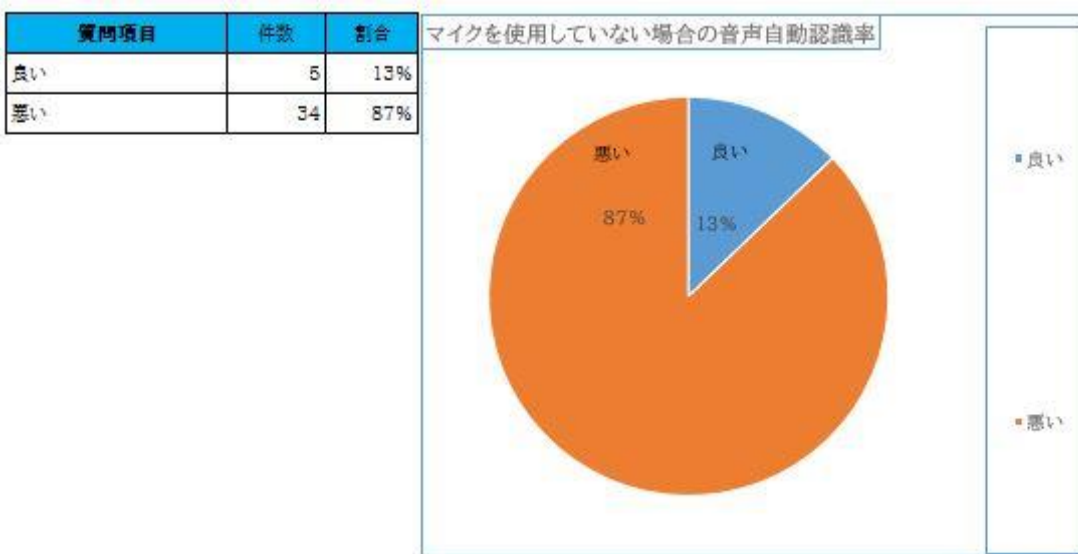
マイクを使用している。 43%



### ②マイクを使用していない場合の音声自動認識率

良い 13%

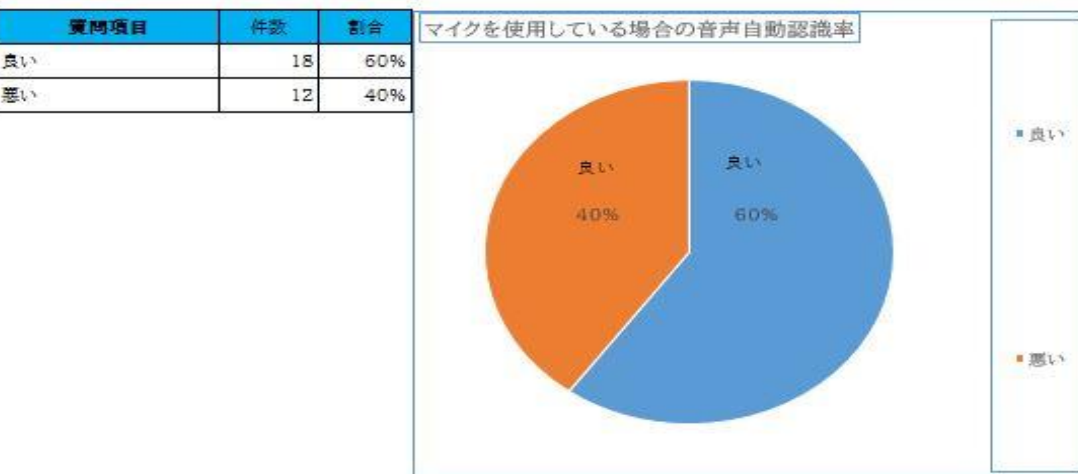
悪い 87%



### ③マイクを使用している場合の音声自動認識率

良い 60%

悪い 40%



## 6 結論

- ・現状でも費用対効果が取れているが、マイクの使用有無で音声自動認識率の差が出ることが分かった。
- ・そのため、さらなる効果を上げるため、音響機器を購入し、自動認識率を上げていく！